

臨床研究部便り 「第 19 号」

臨床研究実績 1,000 点を目標

臨床研究部長 下田 照文

国立病院機構の臨床研究部は、多数の症例を有する国立病院機構のネットワークを活用してデータを集積しエビデンスを形成し医療の質の向上に努めています。また、個々の病院の特徴を生かして新しい医療技術の開発と臨床導入を目指して研究活動を推進しています。

これまで政策医療ネットワーク研究では 19 の政策医療領域を中心に研究を行ってきましたが、平成 21 年度から臨床研究活動の実績評価において活動度（ポイント数）が高い領域を中心とした NHO ネットワーク共同研究に再編されました。すなわち、各領域の研究力ポイントがトップの病院をリーダーにして NHO ネットワーク共同研究グループを組織して臨床研究の推進を図るものです。したがって、ある分野で研究力ポイントが高ければ臨床研究センターではなく小さな臨床研究部でもグループリーダーになれるということです。逆に、実績ポイントが一定のポイントを下回った臨床研究部は院内標榜臨床研究部に格下げされます。

臨床研究活動実績評価報告を毎年国立病院機構本部に提出し、ポイントの順位により助成金（運営経費）と運営費交付金の交付額が決定されます。研究活動の実績が著しく低い臨床研究部に対しては助成金等が配分されません。さらに、このポイントは臨床研究組織再構築の資料となります。

表 1 に、平成 19～21 年度臨床研究活動実績及び再構築一覧を示します。九州がんセンターと四国がんセンターは平成 23 年度から臨床研究センターに格上げされています。福岡病院は過去 3 年間の活動実績ポイントの平均は 972 点であり、臨床研究組織を設置している 126 施設中 20 位でした。

表 2 に、2009 年度と 2010 年度の福岡病院の臨床研究活動実績評価表のポイントの詳細を示します。大きく 4 つのカテゴリに分けられ、さらに詳しい評価項目に分類されています。

ポイント合計は、2009 年度 1,037 点、2010 年度 1,054 点で大差ありません。しかし、評価項目を比較してみると、業績発表はあまり変わりませんが、治験・EBM 研究・NHO ネットワーク共同研究の症例数、競争的資金獲得額には変動がみられています。ポイントが増加した項目はこのまま維持し、減少した項目に関しては来年度の奮起が必要です。

医師、コメディカルも含めて職員の皆様には、この評価項目のどれかひとつでも貢献していただきたいと思います。そして、毎年 1,000 点以上のポイントが獲得できるようにご協力をお願いいたします。

福岡病院の臨床研究部は、臨床と研究が両立した質の高い病院の創造を目指しています。